

# 2018（平成30）年度事業報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

## 一、各事業報告

### 1 自然保全事業（公1）

#### 【草原保全活動】

##### （1）野焼き・輪地切り支援活動

草原保全活動センターを拠点とし、野焼き・輪地切り支援活動等の草原保全活動について、グリーンストック運動の最も重要な事業（活動）として取り組みました。

安全管理の徹底を図るために、地元牧野組合に作業にあたってのボランティアからの要望などについて届けました。また、引き続き現場での作業前の注意事項の伝達等、参加者への安全面での周知徹底を行いました。

昨年に続き、南阿蘇村では地震の影響で2019年春の野焼きを見合わせた牧野もありましたが、それでも年間の支援牧野数は62牧野で、延べ2,707名の参加がありました。

野焼き再開については2カ所（祭場牧野：高森町、檜木野南牧野：阿蘇市）に組みました。

詳細は下記のとおりです。

##### ① 輪地切り・輪地焼き支援活動期間

- ・実施時期：2018年8月26日～2019年3月20日
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 90カ所（47牧野）
- ・派遣人数：延べ1,505名

阿蘇市（舞谷、二塚 他合計21牧野）	延べ936名
南小国町（慈門坊、田の原 他合計9牧野）	延べ122名
高森町（上在、村山 他合計8牧野）	延べ230名
南阿蘇村（なわす、長野 他合計4牧野）	延べ137名
小国町（縦木牧野）	15名
西原村（鳥子、宮山牧野）	延べ39名
山都町（柳谷、柳牧野）	延べ26名

##### ② 野焼き支援活動期間

- ・実施時期：2018年2月5日～4月21日（3月予定が延期のため4月実施）
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 65カ所（59牧野）
- ・派遣人数：延べ1,202名

阿蘇市（舞谷、二塚 他合計 29 牧野）	延べ 591 名
南小国町（慈門坊、田の原牧野 他合計 12 牧野）	延べ 180 名
高森町（上在、村山牧野 他合計 7 牧野）	延べ 179 名
南阿蘇村（下碓、長野牧野 他合計 4 牧野）	延べ 117 名
小国町（縦木、小藪）	延べ 47 名
西原村（鳥子、大切畑、宮山）	延べ 51 名
山都町（柳谷、柳）	延べ 37 名

## （２）研修会の開催等

野焼き・輪地切り支援活動について、引き続き安全管理の強化のための講習会、研修会等を開催しました。また、ボランティア会員の増員に向けて草原保全活動センターを活用し、夏の時期に研修会を開催するなど強化してきました。会員登録は 2019 年 2 月末現在 940 名となっています。

### ① 野焼き支援ボランティアリーダー全体会の開催

第 1 回	(2018. 4. 28)	参加者 38 名
第 2 回	(2018. 8. 18)	参加者 43 名
第 3 回	(2018. 12. 15)	参加者 35 名
第 4 回	(2019. 1. 26)	参加者 34 名

### ② 刈払機安全講習会の開催

第 1 回	(2018. 9. 3)	参加者 43 名
第 2 回	(2018. 9. 10)	参加者 24 名
第 3 回	(2018. 9. 22)	参加者 13 名

### ③ リーダー養成研修会

第 1 回	(2018. 7. 28)	参加者 3 名
-------	---------------	---------

### ④ 初心者研修会

第 1 回	(2018. 8. 25)	参加者 54 名
第 2 回	(2019. 1. 12)	参加者 23 名
第 3 回	(2019. 1. 20)	参加者 42 名
第 4 回	(2019. 2. 2)	参加者 54 名
第 5 回	(2019. 2. 6)	参加者 17 名
J T B 企画	(2018. 9. 22)	参加者 16 名

九電ユニオン熊本支部 (2019. 2. 16) 参加者 57 名 **合計 263 名参加**

### ⑤ 火引き研修会

第 1 回全体研修会	(2018. 12. 5)	参加者 14 名
第 2 回実技研修会	(2019. 3. 30)	参加者 32 名
第 3 回実技研修		
枳牧野（阿蘇市）	(2019. 2. 24)	参加者 47 名
樋ノ口牧野（南小国町）	(2019. 3. 23)	参加者 25 名

柿野山田牧野	(南阿蘇村)	(2019. 3. 24)	参加者 6名
高尾野牧野	(高森町)	(2019. 3. 9)	参加者 29名
小藪牧野	(小国町)	(2019. 3. 23)	参加者 19名

### (3) 活動時のボランティア宿泊支援

活動時のゆたっと村宿泊に関しては低価格(1泊600円+光熱費)にて提供し、遠方より参加の場合や、ボランティア開始時間が早いため、移動中の自動車事故防止のためにも利用していただけるようしています。今年度は延べ244名(昨年比40名増)の利用がありました。

#### 【森づくり活動】

水源涵養の森づくり活動については、連携企業・団体の方々と共に、これまで植林してきた広葉樹の森の下草刈りや枝打ち作業を行いました。

4月14日(日)	西陵ロータリークラブ	18名参加
5月26日(土)	ユカ・コーラ	41名参加

#### 【普及啓発活動】

野焼き支援活動の情報発信及び普及・啓発、広がりづくりについて下記の様に取り組みを行いました。

##### (1) 草原フェスティバルを開催しました。

1. 名称 ASO 草原フェスティバル 2018 ～草原体験プログラム大集合！！～
2. 日時 2018年11月23日(金:祝日) 午前10時～午後4時
3. 場所 草原保全活動センター敷地内及び館内
4. 主催 ASO 草原フェスティバル 2018 実行委員会
5. 動員 約500名の実績
6. 開催目的: 阿蘇の草原の魅力を発信すると同時に草原保全活動の周知のために取り組みました。今回のフェスティバルでも関係団体と協力連携し、阿蘇の草原を切り口として、食と農、草原文化、クラフト体験など、楽しみながら知っていただくような仕掛けを行いました。また、地元の方を中心に阿蘇草原保全活動センターに来館して頂くことで、今後利用して頂けるよう呼びかけを行いました。

##### (2) 阿蘇草原の野焼き活動のための入門セミナー・野焼き見学会

- ・「草原保全・再生セミナーin福岡」
- ・実施日 2018年 5月18日(金) 35名参加  
2019年 1月14日(月) 23名参加  
1月27日(日) 36名参加
- ・実施場所 アクロス福岡(福岡市)

- ・内容 ①草原の機能、草原保全の仕組みの研修のためのセミナー  
②来春の野焼き体験企画を紹介し、参加を募り支え手拡充に繋げる
- ・2月23日(土)に町古閑牧野で、セミナー参加者を対象に37名が参加し野焼き見学の予定だったが、天候の影響により雨天プログラムで草原学習及びクラフト体験を実施した。

※ 公1の収支決算は次の通りです。

科目	金額(単位:円)	備考
活動会員受取会費	1,525,000	野焼きボランティア会費
自然保全事業収益	37,925,718	草原保全システム(1741万)、キリン絆P(1700万)世界農業遺産推進協会(48万)森づくり、研修他事業(303万)
ゆたっと村利用事業収益	158,100	ボランティア活動時の宿泊費
受取補助金等	8,777,170	阿蘇草原再生募金助成金(200万)大東建託みらい基金(100万)多面的機能支払(563万)
受取寄付金	3,399,776	草原ハンバーグ(47万)、熊本トヨタ(83万)、コカ・コーラいろはすプロジェクト(72万)在熊阿蘇ふるさとの会(5万)、GSC(6万)、エコトラ(1.5万)、九建運送(10万)キリン絆(52万)、個人他(63.5万)
収入合計	51,785,764	

人件費計	16,301,041	
物件費計	36,674,008	
支出合計	52,975,049	

(収入) 51,785,764円 - (支出) 52,975,049円 = △1,189,285円

## 2 自然体験・農業体験学習事業(公2)

### (1) 農村体験型修学旅行受入事業(ファームステイ)

子どもたちが一般の農家に民泊し、阿蘇の農村での生活や様々な農業体験を通して農業・農村の大切さを学び、自然や人とのふれあいを大切にした体験企画などで、青少年の健全な育成を目指すことを目的に取り組みを予定していましたが、昨年同様熊本地震により受入校の低迷が続いています。

阿蘇市、南小国町、南阿蘇村、西原村、高森町の約80軒の受け入れ農家の方と東北の復興事例視察、及び安全講習会・衛生講習会などを経て中・高校生の農村民泊及び農業体験学習などの受け入れ準備を引き続き行いました。また、受入農家用、学校・旅行社用の各種パンフレットの作成、草原に係る体験メニューの開発を進めて来ました。

ファームステイの実績は次の通りです。

ファームステイ受入実績 2018（平成30）年度

	実施日	学校名	形態	手 野	坂 梨	阿 蘇 市	南 小 国	南 阿 蘇	西 原	高 森	計
1	5月23日	岡山市立上道中学校	1泊2食 1体験	32	15	24		46	11	25	153
2	5月30日	西宮市立山口中学校	1泊3食 1体験	39	16	25		50	10	22	162
3	6月14日	大阪市立新北島中学校	1泊3食 1体験	42	12	28		74			156
4	7月12日	107年度日本車両工程 実習及見学	1泊3食 2体験					11	5		16
5	10月20日	日中植林・植樹国際連帯事業 2018年度中国高校生訪日団	1泊2食				37				37
6	11月8日	京都府立大江高等学校	1泊2食 1体験				76				76
7	11月19日	KAIEN-1118-MODE TOUR	1泊2食 1体験	15							15
8	3月13日	JENESYS2018 モンゴル 第一分団	1泊2食 1体験	24			17				41
9	3月26日	韓国江原道洪川郡 (ホンチョンゴン) 研修	1泊2食				14				14
合計				152	43	77	144	181	26	47	670

(2) 環境教育及び農業体験事業

将来の阿蘇を担っていくことになる地元の子供たちをはじめ、都市の子供たち、また高校生、大学生、団体へ、草原トレッキングやクラフト体験などを含め様々な自然・農業体験プログラム等の企画を通じ環境教育について取り組みました。

また、阿蘇市の事業で情報館を窓口とした体験プログラムの開発、草原観察ルートづくり、草原データベース作成などにも取り組んでいます。

- 地元小学生の草原環境・体験学習は以下の通りです。（14校実施）

H30年度 基本プログラム実施一覧

NO	市町村	実施校	テーマ	学年	人数	実施日
1	阿蘇市	阿蘇小学校	野焼きのあとを見よう 草原の生きものについて学ぼう	6年生	41	6月15日
			草原のススキで野草紙を作ろう(ススキ刈り)	”	41	9/27(木)
			草原のススキで野草紙を作ろう(紙漉き)	”	”	1/23(水)
			防災教育プログラム	”	41	12/11(火)
			防災教育プログラム	5年生	43	12/11(火)
			野焼きについて学ぼう(事前学習)	”	”	1/25(金)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	”	”	2/19(火)
2	阿蘇市	阿蘇西小学校	熊本市動植物園連携 草原と水のつながり	6年生	22	11/9(火)
			草原と水のつながり 草原の生きものについて学ぼう	6年生	”	11/17(水)
3	阿蘇市	一の宮小学校 H30学習発表会参加校	草原が育んだ文化について学ぼう あか牛と草原について学ぼう	4年生	88	10/5(金)
			野焼きについて学ぼう(事前学習)	”	”	1/19(土)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	”	”	2/26(火)

4	阿蘇市	内牧小学校	草原について学ぼう(学習館)	4年生	37	7/18(水)
			阿蘇のカルデラと草原のなりたちについて学ぼう	4年生		10/11(木)
			草泊まり作り			10/12(金)
5		山田小学校	阿蘇のカルデラと草原のなりたちについて学ぼう	4年生	3	10/10(水)
			草泊まり作り			10/10(水)
6	南小国町	りんどうヶ丘小学校	草原について学ぼう(学習館)	3年生 4年生		6/18(月)
			野焼きのあとを見よう 草原の春の生きものについて学ぼう	3年生 4年生	15	7/13(月)
			草原の秋の生きものについて学ぼう	"	"	10/15(月)
			草原のススキを使って人形を作ろう	"	"	11/12(月)
7		市原小学校	野焼きのあとを見よう 草原の生きものについて学ぼう	4年生	25	7/13(金)
			草原について学ぼう(学習館)	4年生	"	9/21(金)
8	産山村	産山学園義務教育学校	草原について学ぼう(事前学習)	4年生	15	9/20(木)
			草原の生きものについて学ぼう	4年生	"	10/1(月)
			ススキのフクロウ作り	4年生	"	11/1(木)
9	高森町	高森中央小学校 H30学習発表会参加校	草原でオオルリシジミと自然観察	4年生	43	5/24(木)
			草原の生きものについて学ぼう	"	"	10/18(木)
			野焼きについて学ぼう(事前学習)	"	"	1/22(火)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	"	"	2/7(木)
10		高森東学園義務教育学校	草原でオオルリシジミと自然観察	4年生	5	5/24(木)
			野焼きについて学ぼう(事前学習)	4年生	"	1/26(金)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	"	"	2/19(月)
11	南阿蘇村	白水小学校	草原の生きものについて学ぼう(オオルリシジミ)	3年生	15	5/15(月)
12		中松小学校	草原の生きものについて学ぼう(オオルリシジミ)	2年生	10	5/9(水)
13	西原村	山西小学校	草原の生きものについて学ぼう()	3年生	60	10/2(火)
14		河原小学校	草原の生きものについて学ぼう()	3年生	8	10/2(火)

生徒数計 430人

### (3) ゆたっと村での体験事業

修学旅行生、地元団体、一般の方などを対象に、ゆたっと村里山交流館の周辺の農地、山林等を利用した里山の暮らしの体験を行う予定でしたが、道路状況の影響もあり修学旅行などの団体利用、家族などの一般利用がまだまだ震災前の状況に戻らない様子にあります。

下記の体験は行っています。

- ・ 12月27日 もちつき 23名参加
- ・ 3月24日 グリーンコープ組合員 25名参加によるたかな折り・漬け、椎茸コマうち・収穫体験

公2の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位:円)	備考
村民受取会費	168,000	村民会費
自然体験・農業体験学習事業収益	5,329,783	民泊・体験受け入れ (197万)、阿蘇市草原観光拠点づくり (336万)
ゆたっと村体験事業収益	150,000	もちつき、たかな折り 他
寄附金	200,000	こもんらんど (ビオトープ整備として)
収入合計	5,847,783	
人件費計	2,724,856	
物件費計	3,287,397	
支出合計	6,012,253	

(収入) 5,847,783円 - (支出) 6,012,253円 = △164,470円

### 3 調査・研究事業 (公3)

北外輪地区湿地に於ける生物多様性保全事業に引き続き取り組み、各機関・団体の許可を得て希少植物の育苗を行いました。一方で、草資源の利活用について茅利用の調査を進めています。

- ・草刈と刈草の運び出しによる希少植物の保全活動
- ・植生調査と採種
- ・草資源事業化に向けた調査 (茅ぶき屋根材)

公3の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位:円)	備考
事業収入	6,470,000	阿蘇市フィールドミュージアム構想実践事業 (297万) 世界農業遺産 (200万) 観光拠点づくり (150万)
収入合計	6,470,000	
人件費計	790,064	
物件費計	5,806,973	
支出合計	6,597,037	

(収入) 6,470,000円 - (支出) 6,597,037円 = △127,037円

### 4 あか牛オーナーへのあか牛肉販売事業 (収1)

阿蘇の草原を守るためには、阿蘇の草原を利用した畜産業の発展が最も有効な手段となります。独特な事業として阿蘇のあか牛の増頭又は維持に向けた畜産農家への支援のために県内外の方へオーナーへの参加を呼び掛けました。

①あか牛オーナー制度について

(一般オーナー)

2018年度新規契約オーナー数	10名(あか牛 10頭)
2018年度オーナー数	31名(あか牛 33頭)
合計	41名(あか牛 43頭)

受入牧野のエリアに関しては、南阿蘇畜産農業協同組合の協力もあり阿蘇市、南阿蘇村、高森町に及んでいます。また、オーナー代表者会議を年2回、交流会を年2回開催しオーナー制度の運営及びオーナーと受入農家との交流を図りました。

オーナー交流会開催	7月21日	39名参加
	スイートコーン狩り、草原散策、昼食交流	
	10月27日	14名参加
	バーベキュー交流会	

②あか牛肉販売について

あか牛オーナー制度(オーナーより1頭につき30万円を預り金扱いとし、30万円を畜産農家へ繁殖牛購入資金として無利子で貸し出す)については、年間6万円を目途にオーナーの申込みに応じてあか牛肉を5年に亘ってお届けするものです。

収1の収支決算は次の通りです。

科目	金額(単位:円)	備考
活動会員受取会費	88,000	
事業収益	2,969,204	あか牛肉他の利用
雑収入	143,442	保冷箱、保冷剤代
収入合計	3,200,646	

人件費計	134,769	
物件費計	2,848,648	
支出合計	2,983,417	

(収入) 3,200,646円 - (支出) 2,983,417円 = 217,229円

## 5 食事提供及び農産物の販売等事業(収2)

団体や個人によりゆたっと村の宿泊利用、また、あか牛肉の利用普及のために、ゆたっと村でバーベキューの提供を行いました。更に、地元農産物の販売を道の駅で委託販売などを行いました。昨年より利用人数、利用高共に増加しています

① 宿泊での利用は以下の通りです。

・ 宿泊利用 152名 (昨年116名、36名増)

② 農産物の収穫・販売をしました。(昨年11万の売上、3万円増)

・ 椎茸 ・ 落花生 ・ 栗 ・ ブルーベリー ・ さつまいも ・ 梅

収 2 の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位：円)	備考
事業収益	903,107	宿泊 (22 万)、BBQ (46 万)、農産品 (14 万) 施設使用他 (9 万)
雑収入	5,190	九電賃借料
収入合計	908,297	

人件費計	217,760	
物件費計	617,842	
支出合計	835,602	

(収入) 908,297 円 - (支出) 835,602 円 = 72,695 円

## 6 受託調査事業 (収 3)

阿蘇草原再生野草地環境保全計画調査事業 (環境省、通称「牧野カルテ」) について、阿蘇草原再生協議会会員で国立公園内の牧野組合を対象とした環境省による調査事業で、草原文化 (草原の活用、地名、希少動植物等の調査) 及び草原再生 (野焼き作業軽減の為の防火帯整備等の調査) の調査は今回入札落選により取り組んでいません。

## 7 受託管理事業 (収 4)

### (1) 事業の内容

環境省の「草原学習館」及び阿蘇市の「草原情報館」の 2 つの施設管理を受託し、それぞれ下記のような施設概要で、連携して管理運営にあたりました。主には財団で施錠、警備、清掃、日常管理、総合窓口、来客者対応、案内、展示物管理、情報提供ホームページ管理等を行ってきました。

- ・ 草原学習館来館者・利用者数 7,051 名 (昨年 8,584 名 1,533 名減)
- ・ 草原情報館来館者・利用者数 5,424 名 (昨年 5,818 名 394 名減)

### (2) 施設の概要

#### ①環境省「草原学習館」

- ・ 規模：建築面積 806.28 m<sup>2</sup>、延床面積：684.37 m<sup>2</sup>
- ・ 構造：木造平屋建て
- ・ 機能：レクチャールーム、展示、屋外作業スペース、事務室、トイレ、倉庫
- ・ 駐車場：普通車 33 台、身障者用 1 台、大型バス 2 台

#### ②阿蘇市「草原情報館」

- ・ 規模：建築面積 729.48 m<sup>2</sup>、延床面積：648.07 m<sup>2</sup>、広場：1,200 m<sup>2</sup>
- ・ 構造：木造一部鉄骨造平屋建て

- ・機能：ワークスペース、事務室、オフィス、トイレ、倉庫、駐輪場
- ・駐車場：普通車 71 台、身障者用 2 台、大型バス 2 台

収 4 の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位：円)	備考
受託管理事業収入	8,665,000	草原学習館 718 万、草原情報館 148 万
収入合計	8,665,000	

人件費計	4,519,629	
物件費計	3,296,992	
支出合計	7,816,621	

(収入) 8,665,000 円 - (支出) 7,816,621 円 = 848,379 円

## 7 法人会計

月次決算等、会計処理については公認会計士に委託して運営しました。

法人会計の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位：円)	備考
基本財産運用益	400,000	
維持賛助会費	2,878,000	個人会員 89 名 (27 万円) 団体会員 59 企業団体 (261 万円)
雑収入	1,056,557	キャリアアップ助成 (67 万) 講師・執筆報酬 (13 万) 備品貸料他 (25 万)
収入合計	4,334,557	

人件費計	966,803	
物件費計	2,056,329	
支出合計	3,023,134	

(収入) 4,334,557 円 - (支出) 3,023,134 円 = 1,311,425 円

## 二. 2018 年度収支決算について

(1) 上記のとおり事業全体としての経常収支は

(収入) 81,212,047 円 - (支出) 80,243,111 円 = 968,936 円  
となります。

(2) 公益事業比率は、65,584,339 円 ÷ 80,243,111 円 = 81.73%  
となります。